泥酔させた日は、命を危険にさらした日だ。

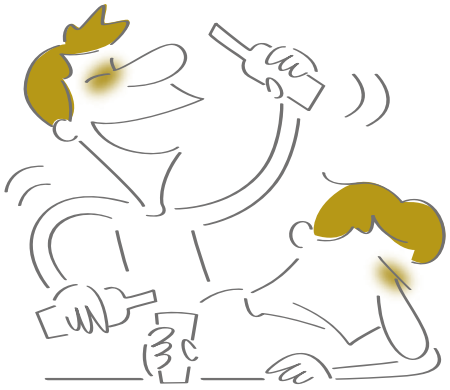
#泥酔キケン #アルハラキケン

SNSには「#泥酔」で大量の投稿がある。酔いつぶれた友だちの写真などが、面白おかしくアップされている。そこには飲酒の強要があったのかも、見て見ぬふりをする人がいたのかも、飲まざるを得ない空気だったのかも。それらはすべてアルハラだ。そもそも泥酔とは、急性アルコール中毒の状態。脳のマヒだ。命を落とすことがある。つまり泥酔させたら、友だちを死なせてしまうかもしれない。泥酔はキケン。この機会に知ってほしい。

なぜ泥酔は危険なのか。何が起きるか知ろう！

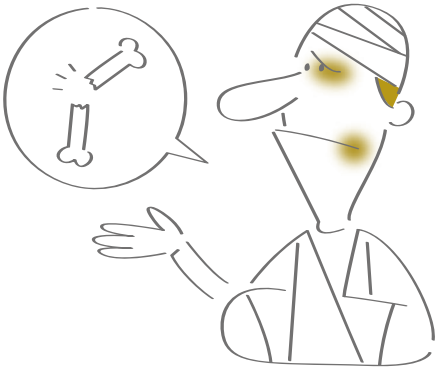
泥酔は脳のマヒ。
急性アルコール中毒の状態。

SNS では＃泥酔で盛り上がる姿が多く投稿されています。
でも泥酔は、とても危険な状態。急性アルコール中毒の状態であり、
脳はマヒしています。放置していると、死に至るかもしれません。
酔いつぶれて寝ていると思っても、
吐いたものが喉に詰まり、窒息死することもあるのです。



友だちと泥酔。
でもそれってアルハラかも。

アルコールハラスメント＝アルハラは、飲酒にまつわる人権侵害です。
無理やりお酒を飲ませていなくても、盛り上げるために
「飲まざるを得ない空気」を作っているとしたら、それもアルハラです。
泥酔目的で、ノリで飲ませるのも、
同調圧力によるアルハラにあたるかもしれないのです。



帰り道も危険。
転んだり、事故にあったり。

酔いの危険は飲んでいる時だけではありません。
帰り道、階段から落ちたり、駅のホームから転落したり、
死につながる事故が多いのです。
酔いのピークは、飲み始めから 30 分~1 時間後にやってきます。
泥酔させていないと思っても、帰り道に危険な目にあわせているのです。

酔った後の溺死。
これも泥酔の危険のひとつ。

溺死、というと海や川で溺れることを想像するかもしれません。
だけど、飲酒後お風呂で溺れて亡くなってしまうことも多いのです。
酔ってお風呂に入っていて、眠って沈んでしまう。
泥酔させて、結果溺死させてしまう。
その危険に気づいてください。

泥酔の危険性をサイトでくわしく解説。
イッキ飲ませやアルハラの情報も。

イッキは命にかかわる飲ませ方です。 No!

イッキ飲み防止連絡協議会　後援：文部科学省 / 厚生労働省 / アル法ネット
協力：全国大学生活協同組合連合会　協賛：ビール酒造組合 / 日本酒造組合中央会 / 日本蒸留酒酒造組合 / 日本洋酒酒造組合 / 全国小売酒販組合中央会 / 日本洋酒輸入協会 / 株式会社毎日コムネット
デザイン協力：サントリーホールディングス株式会社 / 株式会社サン・アド